

西条市民
クラブ

佐伯利彦議員



- (一般質問)
- 1 高齢者搜索模擬訓練について
 - 2 18歳選挙権に伴う高齢者教育について

ICTを活用した高齢者
行方不明対策の推進を！

問 高齢者搜索模擬訓練では、小型タグが見守りアプリをインストールしたスマートフォンに近づくと位置を家族に知らせる見守りシステムを活用したが、課題と今後の展開をどのように考えているのか。また、アプリをインストールした見守りサポーターの増員に向けて、どのように取り組むのか。

答 訓練では、高齢者が行方不明になったことを想定し、システムの有効性を検証した結果、タグを所持したかたが早期発見された。ただ、外出時のタグの所持方法が課題であるため、本人の行動パターンなどから所持してもらった最適な方法を家族と一緒に考える必要がある。今後は、2019年度に丹原・小松地区、2020年度に西条・東予地区で説明会や訓練を実施し、本格運用に向けた体制を整えたい。

また、見守りサポーターの増員が早期発見につながることから、増員に向けた5か年計画を作成している。今後、認知症高齢者の増加が予想されるため、行方不明者ゼロを目指して取り組みたい。



電波を発する小型タグ「ミマモリオ」

佐々木 充議員



- (一般質問)
- 1 水問題について
 - 2 スマートシティ西条について

松山分水反対！
市民の思いを酌む対応を

問 本市の水を守るために黒瀬ダムの水利用が効果的とされているが、どのように考えているのか。また、県から示された「西条と松山の水問題に対する6つの提案」に対して、平成30年度内に回答するとしているが、今後どのように対応していくのか。

答 地下水の塩水化などの問題を解決するため、平成29年8月に策定した西条市地下水保全管理計画において、黒瀬ダムの水利用を提案

しているが、松山分水と並行して進めるものではない。これまでの調査の結果、灌漑期に加茂川の河川流量が毎秒5立方メートル以上確保できれば、安定した地下水位の維持と沿岸部における塩水化の防止が可能であると判明した。河川流量が毎秒5立方メートルを下回る場合は、不足水量を黒瀬ダムから補充したい考えであるが、黒瀬ダムの水を利用するには、県と協議を行うとともに、水利使用者7団体の同意が必要である。県への回答内容については、市内の各種団体に実施してきた説明会や市民と市長の意見懇談会における意見を踏まえ、今後、地下水保全協議会で方向性や具体的な取組について、協議・検討を行っていききたい。



黒瀬ダム

公明党
西条市議員団

越智絹恵議員



- (一般質問)
- 1 風しん対策について
 - 2 新生児聴覚検査について
 - 3 中学校の制服について

広がる風しん感染者
拡大防止の対策を！

問 首都圏を中心に流行が広がる風しんが全国的に広がっており、国は、風しんのワクチン接種を受ける機会がなく抗体の保有率が低い39歳から56歳の男性を対象に、抗体検査や予防接種の助成拡大を発表した。市は、感染の拡大を防ぐため、予防接種や抗体検査の費用助成について、どのように考えているのか。